

再発見！何でも見てやろう

火曜第1・第3 木曜第1・第3

6月5日、11日、17日、19日

【6月国立文楽劇場鑑賞教室】

国立文楽劇場では、6月5日（木）～19日（木）の間に、「解説と名作でわかる文楽の世界」と題して「文楽鑑賞教室」が開催されており、6月の再発見！の行事になりました。

この教室は3部構成になっており、第一部は「五条橋」で第二部は解説「文楽へようこそ」、そして第三部は「三十三間堂棟由来（平太郎住家より木造り音頭の段）」という内容でした。

「五条橋」では夜の京都の五条橋を舞台に、源氏の貴公子・牛若丸と怪力自慢の僧兵武蔵坊弁慶が戦い、後に無二の主従となる二人の出会いを描きます。解説「文楽へようこそ」では、人形と人形操作についての詳しい説明と壇上での希望者3人に対しての実演指導、そして「三十三間堂棟由来」では、お柳が横曽根平太郎と契り、一子みどり丸をもうけたが、お柳は柳の精であって、白河法皇の病気の原因を除く為、その柳を切って三十三間堂の棟木にすることになり、柳の精であるお柳と平太郎とみどり丸の悲しい別れの物語が、巧みに人形を操って迫力満点で演じられました。

文楽の公演は第一部と第三部で、その間に人形と人形操作の解説、又希望者3人の壇上での実演指導という至れり尽くせりという内容で、大好評でした。

